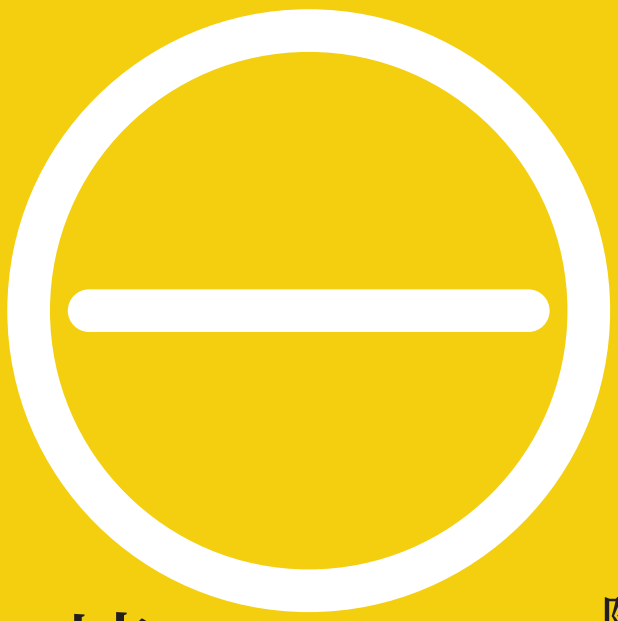

響きあう境

— 陶磁デザインの
新たな座標 —



日韓中
陶磁デザイン交流展
2026



愛知県陶磁美術館 本館ギャラリー
2026年11月29日（日）～12月13日（日）

響きあう境 ―陶磁デザインの新たな座標―　日韓中陶磁デザイン交流展2026

Resonant Boundaries ― New Coordinates for Ceramic Design ―　Japan-Korea-China Ceramic Design Exchange Exhibition 2026

本展は、一般財団法人神戸財団の助成を受け、日本陶磁器デザイン協会、韓国陶磁デザイン協会、愛知県立芸術大学陶磁専攻が主催して行う陶磁文化の国際交流と次世代育成事業です。

日本陶磁器デザイン協会は、高度経済成長黎明期である1956年に「日本陶磁器デザイナー連盟」として創立され、70年間にわたり陶磁器デザインの振興を通じて産業と生活文化の発展に寄与してきました。

近年、陶磁デザインは、デザイン・工芸・芸術・産業の領域を横断しながら、多様な価値観と表現を内包する存在へと変化しています。また、AI技術の進展をはじめとする社会構造の変化の中で、新たな転換期を迎えていると言えます。本展では、『響きあう境 ―陶磁デザインの新たな座標―』をテーマに掲げ、日本、韓国、中国各国の陶磁デザイナー、研究者、次代を担う学生による展覧会を合同で開催します。さらに、国際講演会、出展作家による作品プレゼンテーション、ワークショップ、ギャラリートークなどを行い、陶磁デザインの現在地と未来の可能性を多角的に考察します。地域、文化、世代を越えて響き合う陶磁デザインの可能性を探り、アジアから世界へ発信し得る「文化としての陶磁デザイン」の新たな方向性を提示することを目指します。

日韓中陶磁デザイン交流展2026

●日韓中の陶磁デザイナー、作家、企業による作品展

愛知県陶磁美術館 本館1階 ギャラリー
11月29日（日）～12月13日（日）9:30～16:30（入館は16:00まで）　会期中休館日：月曜日　観覧料無料

国際講演会・作品プレゼンテーション

愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂
11月29日（日）14:00～16:30

第1部　国際講演会

●基調講演

外舘 和子（多摩美術大学教授、工芸史家・工芸評論家）
「工芸（陶芸）・美術・デザインの関係性と課題」

●講演1

金 峻永（韓国陶磁デザイン協会会長）
「関係と変化：韓国陶磁デザイン協会が示す新たな座標」

●講演2

吳 安然（景徳鎮市白雲意懶セラミックデザイン有限公司総経理 兼デザインディレクター）
「器に東西なし、美は共通する」―AI（人工知能）が陶磁産業における大規模生産と小ロット生産にもたらす機会と課題―

第2部　作品プレゼンテーション

●各国作家による作品スライドショー

高橋 生華（日本・陶磁器作家）、李 雨眞（韓国・セラミックアーティスト）、陳 建程（中国・陶芸家）によるスライドショー

※聴講無料

期間中の催し

●出品作家 酒井崇全によるワークショップ（アーティスト with 陶芸館）「純な狛犬」－白磁を使った制作体験－

愛知県陶磁美術館 本館1階 ギャラリー 及び 陶芸館
12月12日（土）13:30～16:00
定員 15名
参加費 3,000円

※詳細は愛知県陶磁美術館サイト/イベント情報にてご確認ください。

●ギャラリートーク

出展作家が語る、作品とその背景

愛知県陶磁美術館 本館1階 ギャラリー
12月13日（日）13:30～14:30

※事前予約不要・無料

主催：日本陶磁器デザイン協会
　　韓国陶磁デザイン協会
　　愛知県立芸術大学 美術学部 陶磁専攻

共催：愛知県陶磁美術館
助成：一般財団法人 神戸財団
後援：公益財団法人 日本陶磁器意匠センター　日本陶磁器産業振興協会

THE POTTERY DESIGN ORGANIZATION OF JAPAN　DODI 한국도자디자인협회 KOREA CERAMIC DESIGN ASSOCIATION　愛知県立芸術大学　愛知県陶磁美術館 AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM　KANBE FOUNDATION